

| | | | | | |
|------|---------------------------|----|----|-----|------------|
| 科目名 | ジャズ・ポピュラーコーラス I・III・V・VII | 形態 | 実習 | 開講期 | 春学期 |
| 担当教員 | 森 久子 | 単位 | 1 | 年次 | 1, 2, 3, 4 |

＝授業科目の目標＝

発声練習をふまえ、ゴスペル、ポピュラーソング、スタンダードジャズの中から取り組みやすい曲（特に英語詩が難解なものは避ける）を選び、リズムやハーモニー等、音楽的表現に加え、歌う喜びや楽しさ等、感情的表現を豊かにすることを目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

やる気があり、積極的に取り組める学生を望む。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）
- 3回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ゴスペルソング（Oh, Happy Day 等）
- 4回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ゴスペルソング（Oh, Happy Day 等）
＜リズム、英語詩の練習＞
- 5回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ゴスペルソング（Oh, Happy Day 等）
（水曜コンサート出演に向けてレパートリーを増やしていく）（その1）
- 6回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ゴスペルソング（Oh, Happy Day 等）
（水曜コンサート出演に向けてレパートリーを増やしていく）（その2）
- 7回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ポピュラーソング
＜（1970～1980年代のヒット曲）アバ・カーペンターズ・ビートルズ等＞
- 8回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ポピュラーソング＜英語詩の練習＞
- 9回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ポピュラーソング
＜リズム・ハーモニー＞
- 10回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・ポピュラーソング
- 11回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・レパートリー暗譜
＜水曜コンサートに向けて＞（その1）
- 12回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）・レパートリー暗譜
＜水曜コンサートに向けて＞（その2）
- 13回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）
・バンド（ピアノ、ベース、ドラム他）と練習
＜水曜コンサートに向けて＞（その1）
- 14回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）
・バンド（ピアノ、ベース、ドラム他）と練習
＜水曜コンサートに向けて＞（その2）
- 15回 ・発声練習・ストレッチ（声を出しやすくするため毎回必ず行う）
・バンド（ピアノ、ベース、ドラム他）と練習
＜水曜コンサートに向けて＞（その3）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

発表の中で積極性、協調性や出席状況など総合的に判断する。

＝その他＝

特になし